

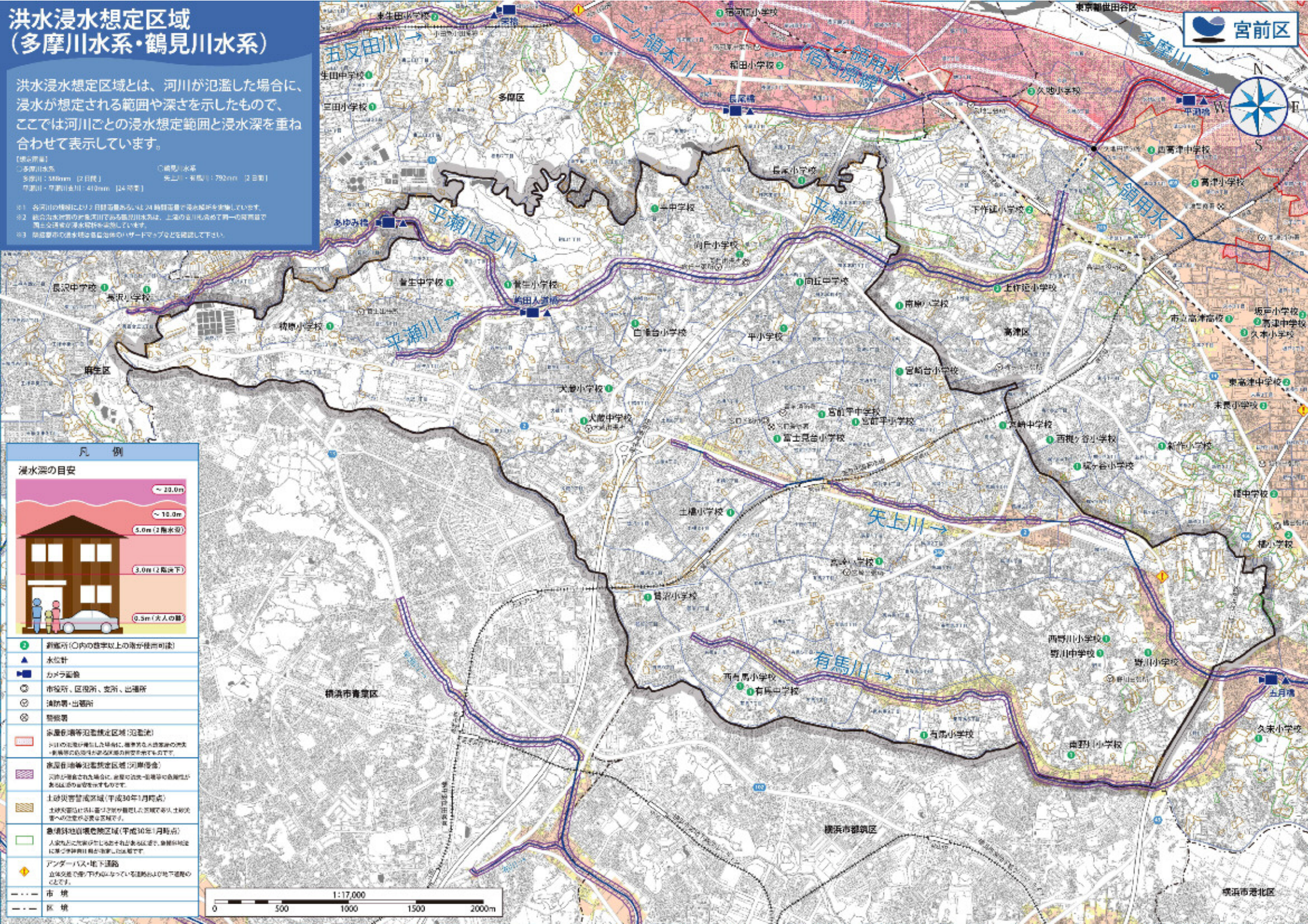
# 洪水浸水想定区域 (多摩川水系・鶴見川水系)



洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲や深さを示したもので、ここでは河川ごとの浸水想定範囲と浸水深を重ね合わせて表示しています。

【想定雨量】  
 多摩川水系 多摩川：350mm（2日積） 平瀬川水系 平瀬川・有馬川：792mm（2日積）  
 有馬川・有馬川支流：410mm（24時間）

① 各河川の規模により2日積雨量あるいは24時間雨量で浸水範囲を算出して表示。  
 ② 洪水浸水想定区域は、河川が氾濫した場合に、上流の支流も合わせて同一の浸水想定範囲と浸水深を算出して表示。  
 ③ 浸水想定区域は、浸水想定区域のハザードマップと重ねて表示。



## 凡例



- ② 避難所 (○内の登車以上の階が使用可能)
- ▲ 水位計
- カメラ監視
- 市役所、区役所、支所、出張所
- ⊙ 消防署・出張所
- ⊙ 警察署
- 赤色斜線 重要河川等氾濫想定区域 (氾濫時)
  - ① 川の氾濫が想定される場合に、避難する人々の安全の確保と、避難所の確保を目的として、避難区域を設定するものです。
- 紫色斜線 氾濫が想定される場合に、避難の妨げとなる危険性が想定される区域を示すものです。
- 茶色斜線 土砂災害警戒区域 (平成30年1月時点)
  - 土砂災害防止法に基づき、災害が想定される区域で、土砂災害への対策が必要と認められる区域です。
- 緑色斜線 急傾斜地崩壊危険区域 (平成30年1月時点)
  - 人家などの被害が生じるおそれがある区域で、急傾斜地対策に努める必要があると認められる区域です。
- アンダーパス・地下道路
  - 立体交差で地下になっている道路および地下道路のことです。
- 市境
- 区境

